

ビニル巾木の基本施工法

適用範囲	この施工方法は、軟質ビニル巾木(ソフト巾木)の基本的な工法について適用する、
下地の点検	下地の乾燥、強度、平滑度などについてチェックする。
材料の搬入、保	材料を指定の箇所に搬入し、数量、ロットの確認を行う。 複数ロットで入荷している場合は、施工箇所毎に材料の積み分けを行い混同しないようにする。
ケレン、清掃	下地の突起物や脆弱部などは、ケレンなどで確実に除去する。
接着剤の塗布	接着剤(プラゾール巾木糊ゼロアスベスト)は規定のくし目ごてで塗布し、作業中くし目がすり減った場合は調整を行う、1回の塗布面積は、貼り付け可能時間以内に巾木を貼り終える面積とする
オープンタイム	オープンタイムは、下地の種類、温湿度、通風などにより異なるが、接着剤の皮膜にベタツキが生じる状態を目安にする。
貼り付け	隅角部(出隅、入隅)、平場の順序で目通りよく目地すきのないよう貼り付ける。
出隅の貼り付け	出隅部の施工は、次の順序で行う。 1) ドライヤーなどで軟らかくなるまで加熱し、折り曲げる。 2) 折り曲げた状態で貼り付け、十分に冷却させる。
入隅の貼り付け	入り隅の施工は、突きつけ法で行う。 一方の巾木を貼り付けた後、その形状に合わせてもう一方の巾木を突きつけて隙間なく貼る。
圧着	圧着可能時間内に、ハンドローラーなどを使用して念入りに圧着を行う。
施工後の点検	施工後の点検は、施工後なるべく早い時期に行う